



『いきすこ』昭和三地区社協便り

広報専門部会

Vol. 22

編集・発行 袖ヶ浦市昭和三地区社会福祉協議会 広報専門部会 ☎ 0438-63-3888
〒299-0256 袖ヶ浦市飯富1604 袖ヶ浦市社会福祉センター内 FAX 0438-63-0825

今年度の活動と 地域コミュニティの形成について

昭和三地区社会福祉協議会 副会長 安田 健博



昭和三地区社会福祉協議会(通称・昭和三地区社協)の副会長を務めさせていただいている安田健博です。皆様には日頃から昭和三地区社協の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。昨年同様、制約された活動にならざるを得ませんが、事業推進委員一同これら活動を通して住民同士の繋がりを地域コミュニティの形成が促進されるよう、取り組んでいきたいと思っています。

昔の昭和三地区は住民の多くが農業や漁業(海苔養殖)を生業にしていたことから、共通の仕事に関する情報交換等を通して自然に住民同士の繋がりが地域コミュニティが形成されてきました。ところが今は従事する仕事が多様になり、仕事を媒介として住民同士の繋がりを深めることが難しくなってきました。したがって従来の仕事に代わり、社会福祉協議会や自治会などが主催する各種行事やイベントなどが住民同士の繋がりを地域コミュニティを形成する役割を担うものとして重要になってきています。

一方、防災の場面でよく使われる言葉として自助、共助、公助という言葉があります。自助は自分で自分を助けること、共助は家族や企業、地域コミュニティで共に助けあうこと、公助は政府・自治体など行政による救助・支援のことです。阪神淡路大震災の時には共助により多くの人の命が助かったと言われています。社会福祉協議会や自治会などが主催する各種行事やイベントに参加し、住民同士が繋がりを深め、地域コミュニティが形成されることは、防災における「共助」の精神を醸成し、住民一人一人の命を守ることに繋がります。

コロナ禍という状況の中で、感染防止を第一優先に今年度の活動に取り組んでいきたいと思っていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



令和三年四月二十日 昭和三地区社協総会を開催

年度始めに事業推進委員三十三名が出席して開催する総会で、今年度の事業実施計画が決定されました。残念ながら未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況から、昨年度同様に殆どの事業を左記の通り中止・延期をすることになりました。

「お花見風食会」
「敬老会」
「ふれあいバスハイク」
「わくわくチャレンジ」



の大きな四つの事業を中止することになりました。本当に残念ですが、新型コロナウイルス感染症の為にご理解ください。

「高齢者見守りサービス」
毎月第3水曜日見守り訪問品の配布を行います。

「サロンいきすこ」



開催は9月迄中止とし、その後の状況を確認してから開催可能かを判断します。

「広報誌の発行」

今年度より「あさがお通信」を年3回発行します。



新・事業推進委員の紹介
左記の二名(敬称略)が新たに昭和三地区社協の事業推進委員として活動することになりました。



石井喜三江
令和2年12月1日付
サロン専門部会
民生委員児童委員



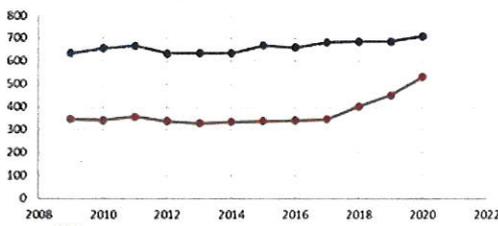
鈴木珠美
令和3年4月1日付
児童支援専門部会
主任児童委員

昭和三地区の児童数が増加中

ここ数年の奈良輪小、昭和三の児童数は増加しています。特に奈良輪小の増加は著しく二〇二七年には一八〇人までピークを迎えるとの予測もあります。(東京新聞エモより引用)

増築中の奈良輪新校舎は二〇二二年四月一日より使用される予定です。何はともあれ子供は国の宝です。コロナ禍において子育てが家庭が困らないように地域を挙げて見守っていきましょう。

昭和三地区児童数推移(人)



昭和三小学校入学式 4月8日(木)



1年生112名が入学しました。明日から学校生活がはじまります！「なかよくげんきにおべんきょう」みんなががんばりましょうね！

奈良輪小学校入学式 4月8日(木)



1年生105人が入学しました。1日も早く小学校生活に慣れてもらって、一緒に活動していきましょう。4月8日より、奈良輪小学校の児童数は584名となりました。

昭和三中学校入学式 4月9日(金)



185名の新入生が入学し、全校生徒529名が揃い、昭和三中学校の令和3年(2021年)度がスタートしました。生徒たちは新学期を迎え、元気よく登校してきました。



そでがうらふこども館



袖ヶ浦こども館は、子育て親子の交流、支援拠点として平成26年に設立され、二つの組織から成っています。

一つは子育て支援センターです。小学校に入る前の親子が安心して遊べる施設で、保育士さんからの育児に関するアドバイスを情報提供、親同士の会話による情報交換、また毎月体重・身長測定や誕生会も計画されています。

保育士さんから、「指導・助言より、話を聞き一緒に考えていきます。そして行きたいと思っても行けずにいる方を見かけたら、声をかけて下さい」との事でした。



二つ目はファミリーサポートセンターです。この組織は、乳幼児や小学生を持つ子育て中の「利用会員」と子育ての手助けを行う「提供会員」から成る有償の相互援助活動です。

主な支援は保育園・小学校への送迎と一時的な預かりで、子供の送迎(一時間程度)が多くなっているそうです。

ここでの問題は「提供会員」不足で、子育て支援に興味のある方の応募が期待されています。

こども館を利用し、不安や悩みを解消し、子どもと過ごす時間を増やして欲しい、と取材を通して感じました。



子育て支援センター職員



ファミリーサポートセンターアドバイザー

児童登下校見守り活動



多くの団体(自治会、学校、PTA、シニアクラブ、交通安全協会、個人)の方々は、児童の安全な登下校を願い見守り活動を「示箇所」にての実施や通学路の安全確認、安全設備設置等の働きかけをなされています。それでもまだ「危険な道路横断箇所」は残っています。一朝一夕には良くなりませ



坂戸市場地区の登校見守り

通学時の事故資料に依れば小中高共に一年生、また長期休み明けに事故は多いとあります。

現状では家庭、地域、学校が一緒になって「児童がより安全な通学を習慣とする」しかなく、大人や上級生が正しい道路横断、自転車の乗り方の手本を示すのが一番と思えます。

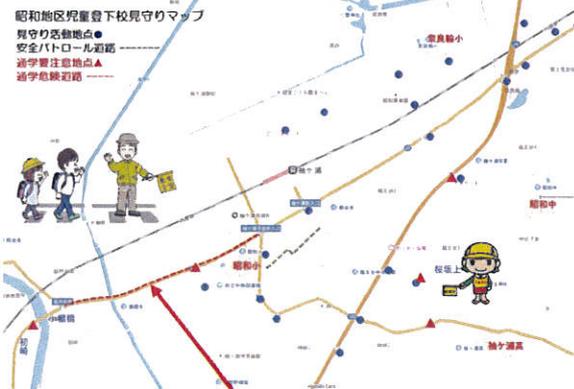
本活動の課題の一つは、高齢化によるボランティアの減少で、時間に余裕のある方が求められています。本活動は雨、風等大変ですが、それ以上に子供たちから元気を貰えます。一緒に活動しませんか!



横断歩道を無事に渡り校門へと入る



奈良輪小校門前の横断歩道で登校見守り



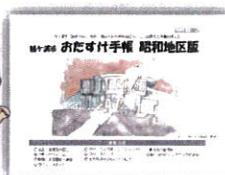
昭和三地区児童登下校見守りマップ

見守り活動拠点 ●
安全徘徊コース(赤線)
通学要注意地点 ▲
通学危険道路 (赤線)

昭和三小学校前の県道87号線は長い通学危険道路です

袖ヶ浦市おたすけ手帳をご存知ですか？

高齢者にやさしいサービスや生きがい活動・集いの場情報などが集約されています。「車を運転しないので買い物に行くのが大変!配達して貰えるお店を探している」「日中はずっと一人なので、集いの場に参加したい」「困った時にどこに相談したらいいのかわからない」などの際にご活用ください。高齢者支援課や社会福祉協議会窓口で置かれているほか、市ホームページからダウンロードも出来ます。



【昭和三地区版】
昭和三地区協議会メンバー作成



高齢者が暮らしやすい地域づくりのために



【市全域版】令和3年3月版
社会福祉協議会作成



神納東区花の会の皆様は、田植えの前に広域農道沿いの花壇に咲く花の手入れや除草作業をします。広域農道を行き交う車からの眺めは心癒される美しさです。



除草作業



花壇の手入れ

令和3年4月4日(日) “ふらっと花見ウォーキング”



皆さん元気よくウォーキング



皆さん揃って記念撮影

袖ヶ浦陸上競技場をスタートして、中郷地区では満開の梨花を見て、小櫃堰公園までウォーキングしました。参加者は十九名で、残念ながら桜は風のいたずらで盛んに散っていました。小櫃堰公園では、藤の花も咲き始めていました。皆さんも一度は出かけてみませんか!

癒しの散歩道



広報専門部会

編集後記
昭和三地区を歩いて見ました。陸上競技場横は百戸程の宅地造成中で、域内随所家が建設中です。海浜公園に繋がる道路には新しく大きな橋が建設中でした。今後子どもが増えていくに依る課題も多くなると思えます。広報活動を考えてもらえる一日でした。